



本号のタイトルは、

令和6年度 埋蔵文化財の 調査・展示紹介



①

さいたま市文化財時報

かや

榎りぼーと

第96号

『埋蔵文化財』とは、地中に「埋蔵」された「文化財」のことで、我々の祖先が造り出したものが地中に保存された、当時の生活を知るための重要な資料です。この埋蔵文化財の存在が知られている土地を「埋蔵文化財包蔵地」と呼びますが、一般的には「遺跡」と呼ばれています。さいたま市内には旧石器時代から近世のものまで1,100か所以上確認されています。

埋蔵文化財は、地中から掘り出してしまうと、元に戻すことができないため、埋もれたままの状態での保存することが望ましいのですが、土木工事などで壊れてしまう場合には、記録として保存するための「発掘調査」を実施します。今年度、市内で実施した発掘調査は23件でした(2月末現在)。

また、さいたま市では、平成28年10月から、岩槻区に所在する国指定史跡「真福寺貝塚」の整備に向けて、史跡内の内容を確認することを目的とした学術的な発掘調査を継続して行っています。

今回は、これらの発掘調査のうち、令和6年度に実施したものから主な調査成果を紹介します。

縄文時代晩期の泥炭層と斜面堆積層の調査 ～国史跡 真福寺貝塚の調査～ 〈岩槻区〉

東武アーバンパークライン岩槻駅の南東約1.6km、岩槻区城南3丁目に所在する遺跡です。昭和50年に国の史跡に指定されており、上記の学術的な発掘調査の対象としています。

令和元年度から令和4年度までは、史跡西側の窪地から台地縁辺部、そして谷部にいたる周辺の活動状況を明らかにするための調査を行いました。

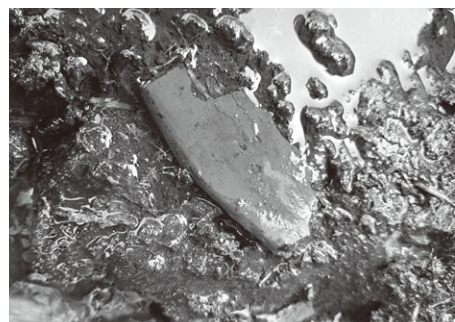
令和5年度からは、真福寺貝塚の水辺の活動域にあたる谷部の泥炭層の調査を実施しています。調査の結果、台地斜面部から泥炭層に移行する地形の様相や堆積時期が明らかになってきました。

今年度の調査では、縄文時代晩期初頭の泥炭層を調査し、大形の樹木とその根部分を検出しました。木材の検出状況から、晩期初頭の調査地点周辺は湿地林であったことが想定されます。

斜面部では、厚さ約1mにわたって堆積する晩期中葉の包含層が確認されました。また谷際からは、籃胎漆器らんたいしっきの口縁部破片が出土しました。



▲斜面部に堆積する晩期中葉の縄文土器



▲籃胎漆器口縁部破片の出土状況

縄文時代中期の集落跡 ～にしはら西原遺跡の調査～

〈岩槻区〉

東武アーバンパークライン岩槻駅から西に約750m、岩槻区西原台に所在する遺跡です。この遺跡の発掘調査は今回で8回目になります。分譲住宅の建設に先立ち、(一財)さいたま市遺跡調査会が令和6年8月から12月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代中期の複数の住居跡や、同時期の大量の土器などの遺構・遺物を検出しました。

住居跡には埋甕うめがめを伴っているものや、土器が一括して廃棄されているものもあり、残存状態は非常に良好でした。

これまでの調査結果を踏まえると、今回検出した住居跡は、環状集落の中心部付近に位置していることが分かりました。



▲縄文時代中期の住居跡

縄文時代中期の住居跡を検出 ～くぬぎやつ櫛谷遺跡の調査～

〈緑区〉

埼玉高速鉄道浦和美園駅から南東に約1.5km、緑区大門に所在する遺跡です。この遺跡の発掘調査は今回で26回目になります。分譲住宅の建設に先立ち、(一財)さいたま市遺跡調査会が令和6年9月から10月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代中期の住居跡1軒と、住居跡に伴う同時期の土器や石鏃などの遺構・遺物を検出しました。

本遺跡はこれまでの調査により、縄文時代中期の規模の大きな集落跡であることが明らかになっています。

検出した住居跡は、残存状態が良好で、掘りこみが90cmほどもありました。住居跡からは、縄文時代中期中葉を中心とする土器が非常に多く出土しました。

また住居にある炉跡は、土器を埋設した埋甕炉まいようろであることも分かりました。



▲完掘状況

縄文時代後期後葉から晩期初頭の集落跡 ～おおとほんむら大戸本村3号遺跡～ 〈中央区〉

JR南与野駅の南東約900m、中央区大戸1丁目に所在する遺跡です。この遺跡での発掘調査は今回で6回目になります。分譲住宅の建設に先立ち、(一財)さいたま市遺跡調査会が令和6年3月から5月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代後期後葉から晩期初頭にかけての住居跡6軒や土坑のほか土器や土製品、石器、石製品などの遺構・遺物を検出しました。

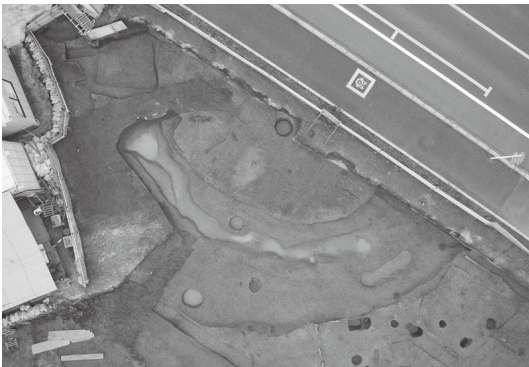
本遺跡の西側の谷部には、丸木舟や漆器を出土した低湿地遺跡である南鴻沼遺跡が所在しており、今回検出した住居跡や土坑は、低地を利用した人々の居住域にあたります。



▲土坑から出土した縄文土器

古墳の周溝跡を検出 しもおおくほしんでん ～下大久保新田遺跡～

〈桜区〉



▲古墳時代後期の古墳の周溝跡

JR南与野駅の西約3km、桜区下大久保に所在する遺跡です。この遺跡での発掘調査は今回で14回目になります。分譲住宅の建設に先立ち、(一財)さいたま市遺跡調査会が令和6年4月から12月にかけて実施しました。

調査の結果、弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡50軒、古墳時代後期の古墳の周溝2基、そして弥生時代から平安時代の土器や近世の陶磁器などの遺構・遺物を検出しました。

遺跡内には県重要遺跡である大久保古墳群に属する古墳が点在しており、今回出土した古墳の周溝は、それらとの関連を予想することができます。

奈良から平安時代の住居跡 おおくほりょうけかたまち ～大久保領家片町遺跡の調査～

〈桜区〉



▲カマド周辺の遺物出土状況

JR南与野駅から西に約2km、桜区大久保領家に所在する遺跡です。この遺跡の発掘調査は今回で15回目になります。個人住宅の建設に先立ち、さいたま市教育委員会が令和6年6月に実施しました。

調査の結果、奈良から平安時代の住居跡1軒や溝などと土師器や須恵器などの遺構・遺物を検出しました。住居跡に伴うカマドは、焚き口部分が残存しており、周辺の床面は燃烧により赤色化していました。また、カマド付近からは、土師器と須恵器が複数点出土しており、当時の生活を知るうえで貴重な発見となりました。

岩槻城の武家屋敷跡を調査 いわつきじょうあと ～岩槻城跡～

〈岩槻区〉



▲遺構から出土したかわらけ

東武アーバンパークライン岩槻駅の南約1.2km、岩槻区太田2丁目に所在する遺跡です。今回の発掘調査地点は、岩槻城の主郭部「三の丸」にある「侍屋敷」というエリアに位置しています。個人住宅の建設に先立ち、さいたま市教育委員会が令和6年5月および7月から9月にかけて実施しました。

調査の結果、中世から近世の土坑86基のほか、中世の板碑、中世から近世の陶磁器・かわらけ・瓦・銭貨など、また、縄文時代の土坑も7基検出しました。

出土した中世から近世の土坑の多くは建物の柱穴と考えられ、瓦や食器などの遺物は、武家屋敷の存在を思わせます。

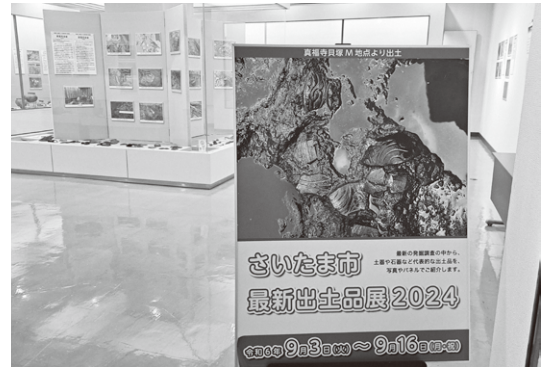
きゅうせつ 旧石器	じょうもん 縄文	や 弥生	こ 古墳	ちゅうせい 中世		きんせい 近世		きんげんだい 近現代					
				な 奈良	へい 平安	かまくら 鎌倉	むらまち 室町		せんごく 戦国	えど 江戸			
10000		200 BC	0 AD	200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000

埋蔵文化財の展示紹介

さいたま市では、埋蔵文化財の調査のほか、市民の皆様へ埋蔵文化財を紹介し、理解を深めていただくための活動も行っています。

令和6年9月から令和6年11月まで、市内の発掘調査の成果をいち早く紹介する「最新出土品展」を、さいたま市立博物館（大宮区）、にぎわい交流館いわつき（岩槻区）、コクーンシティ（大宮区）の各会場で開催しました。公共施設のほか商業施設で開催したことで、多くの方にご来訪いただきました。

9月7日には「さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会」をさいたま市生涯学習総合センターで開催しました。参加された方には、令和5年度に実施した発掘調査や、国指定史跡・真福寺貝塚に関する調査状況について各担当者が詳しく解説し、周知につなげることができました。



▲最新出土品展（さいたま市立博物館）

見に来てくれて、
ありがとうございます！



真福寺貝塚キャラクター
福みみーず

お知らせ

春を迎える 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」の案内

<p>草焼き 1月15日(水)</p>	<p>夏から秋にかけて自生地で大きく成長し枯草となったオギやヨシ等を焼くことで、地面に陽光が当たるようにし、サクラソウの芽吹きを助けます。事前広報・安全対策のうえ無事完了し、自生地の保全に努めるとともに、その重要性の周知を図りました。</p>
<p>サクラソウWeeks 3月28日(金)～ 4月13日(日)</p>	<p>サクラソウの開花時期にあわせてサクラソウWeeks2025を開催し、当該期間中、毎日10時から15時までボランティアによる案内を実施いたします（雨天・荒天中止。内容変更時は市ホームページで周知）。ぜひお越しいただき、自生地の様々な魅力に触れてみてください。</p>
<p>さくら草まつり2025 4月12日(土) 4月13日(日)</p>	<p>（公社）さいたま観光国際協会主催、さいたま市・さいたま商工会議所共催で、さくら草まつりが開催されます。桜草公園（13日（日））ではステージイベントや飲食物の販売等が行われるほか、浦和駅東口駅前市民広場（12日（土）・13日（日））ではさくら草の実費頒布や展示、栽培相談コーナーの設置等が行われますので、ぜひご来場ください。</p>



▲草焼きの様子

サクラソウや
自生地の魅力、
大切さを知って
もらえると
嬉しいな。



田島ヶ原サクラソウ自生地キャラクター
サクラソウサギ

さいたま市文化財時報

樞りぼーと

第96号

令和7年3月17日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

☎048-829-1723 FAX048-829-1989

さいたま市 文化財保護課 で 検索

過去の樞りぼーとは右の二次元コード参照

